

どのした淵

【大山祇神社まつり】

11月21日(月) 24名の参加により開催しました。当番の1・2班の皆さん準備から後片付けまで御苦労様でした。ぽかぽかの小春日和にみまわれ、汗ばみながらの準備になりました。参加者の皆様お疲れさまでした。

『しめ縄は何mか』『竹は何本切ればよかけ』
 といつもながらの問答が繰り返されながらの準備となりました。今もこつとして会員が用土品を準備する形は少なくなってきたのではないのでしょうか。同じように継承していくには、藁細工(しめ縄・皿造り)の技もしっかり引き継いでいかないといいけません。
 とはいえ人数も少なくなり、当日は神社分しか作られなかったので、家の氏神様のしめ縄は各家持参してくださいとの神主からのお達しでした。

今年もあと僅か、穏やかに、健やかに年末年始を迎えください。来年が皆様にとって更なる飛躍の年になりますように!!



元文3年(1738年)勧請

284年の歴史を継承

発行責任者

高峯公民会長
三 腰 善 行

090-1089-9432

令和4年12月1日発行

【グラウンドゴルフ&マウンテン】

区体協によるグラウンドゴルフ・活性化委員会によるマウンテンゴルフが3年ぶりに開催されました。参加の皆さんご苦労様、入賞された方々おめでとうございます。
 小学校のグラウンドは草ぼうぼうでしたが、前日までに善意によるボランティア、係により除草がされて素敵なおコースでゲームが出来ました。それにしても校庭を猪がほじくり返しているのにはびっくり!!

ここぞい出てこんち よからそなもの。
 きららの里公園も、前日までにシルバ人材の皆さんで除草がなされました。大会にはみずい電力(小水力発電事業者)もご参加いただき、親交を深めることが出来ました。みずい電力さんからは賞品(ジュース)も提供され参加者に配られました。

今回は参加人数を制限しての開催となりましたが、コロナが治まり躊躇することなく区民全員で大いに盛り上がる日が一日でも早く来るといいですね。



たかね寺小屋へ持続可能な地域づくり

出来ることから始める地球環境を考えた調理「エコクッキング」

チェック4 エコキッチン

■ 洗剤使い過ぎ注意
 汚れのひどいものは洗う前に新聞紙などで一拭き

■ 大切な水・節水

排水への配慮(米のとぎ汁・煮汁など)

■ 火加減に気を付ける

■ 鍋の底は水をきちんと拭いてから

■ ラップ・ホイルは必要最低限に

■ ごみの分別もきちんと



自給自足の生活

節約の時代の裕福



【町政座談会&風力発電説明会】

◆11月8日(火)区林業集会所で「みんなで紡ぐ、希望あふれるまちづくり座談会」が開催されました。意見交換のテーマとして、①地域資源の活かし方②泊野小学校跡地の活かし方の2つのテーマについて、町の回答を受けながら意見交換がなされました。町長以下主管課長を含め行政から大勢出席されていたのに対し、地元の人数が少なかったのが残念でした。少子高齢化が進む中、地域活動の継承、活性化させるかは住民みんなで考え、行動するしかないのでは。地域にはその地域にしかない自然・資源がいっぱいあります。そこにスポットをあて磨きをかけ付加価値を高める必要があると思います。

◆風力発電(株)ユースエナジーの説明会は12日(土)にありました。こちらも十数名の出席でした。さつま町側には1本建つ計画ですが、どこに何本建てられるのか、いつ頃から始まるのか、工法は、工事車両の往来は、土砂の処分は、水の汚濁は、騒音は…等々。周辺地域住民にとって様々な関連が出てきます。工事が始まってからドーノコーン言っても仕方ないので、事前にいろんなことをお尋ねし、理解し完成のあかつきには地域貢献策を企業とともに見出していきたいものです。



住みよい地域づくりのため積極参加を

【キャンプスペース利便性向上】

どのした淵のキャンプスペースへの出入口に段差があり、車がすんなり乗り入れ出来ませんでした。砂利を入れてもらい段差が解消し、間口が広がったのでスムーズに出入り出来るようになりました。

先日は始良からソロキャンパーも訪れていました。年間を通して賑やかな場所になればいいな。11月20日(日)には、活性化委員会紫尾山部会により轟の滝周辺の除草作業も行われました。少しずつほんの少しずつでも、地元の魅力を発信していけたらいいですね!!。



編集後記「田の神やあつたつた」

泊野は町内で唯一全域的に上水道が供給されていない地区です。人々の暮らしに必須な衣・食・住の中でも食、特に水は最も重要です。安全・安心な水の受給という意味において地区民は平等に恩恵を受けていますか? 町の水道事業には一般財源(税金)を補填して運営がなされています。税金は平等に徴収されているのに水の供給に関して平等に配分されているのか。矛盾を感じるへんぶつの妄想です。

小学校活用において水の問題はキモになります。せめて水の供給くらいはあってもよいですか! 皆さんどう思いますか! 学校の利活用に関心を持ち考えてみましょう。

学校跡地の維持管理は年4回の草刈りと1回の剪定をシルバー人材センターに委託されています。地区で委託(30万円)を受け管理されている学校跡地もあります。学校は地区民の拠り所なので、区で受託するのもありかな。或いはシルバー作業の年4回だけでは年間を通して良好な状態を保てないので、区の取組みとしてプラスα分を区民みんなで作業し、いつでも寄り集まれる環境を自ら整える事も考えるべきではないでしょうか。廃校跡地だから何もしないのではなく、今後どう利用し・活かしていくかは地区民のはまいひとつです。愛校精神は永遠に。

お詫びと訂正 10月号の高規格道路整備促進地方大会の記事で代議士の名前が違っていました。野元ではなく野間代議士です。でしなごつでした。申し訳ありません。お詫びして訂正いたします。